

6月23日(月) 13:30～15:00

企画講座

「夏越の祓」を学ぶ

毎年6月30日、12月31日には、全国の神社で「大祓」という罪穢（つみけがれ）を祓い清める神事が斎行されます。特に6月の祓は古くから「夏越（なごし）の祓」ともいわれ、盛んに行われてきました。『拾遺和歌集』には「水無月のなごしの祓する人はちとせの命のぶといふなり」との和歌が載せられています。「夏越の祓」を目前に、お菓子『水無月』をいただきながら、大祓の歴史や神事の見どころ、関連する文化について図解や実演を交えながら学びます。

参加費

会員

1,500円

ビジター

2,000円

(和菓子・抹茶付)

講師

新田 恵三

皇學館大学 文学部神道学科 助教



6月30日(月) 13:30～15:00

企画講座

芸術の「力」を考える

有名な作家の作品や、歴史的にお宝扱いされている作品だけに芸術の力が宿っているわけではありません。ブランド品に惹かれるだけの芸術鑑賞は、残念ながら、頭（知識）に偏ったふれあいに終わるだけではないでしょうか。本来、芸術の力は、生命のある者の心に直接響く、類まれな「美」のパワーなのです。人類は今、この共感を実現する「美」の働きに気付くべきではないのでしょうか。

参加費

会員

1,300円

ビジター

1,800円

講師

森本 武

思想研究組織K's Point 代表

7月4日(金) 13:30～15:30

体験講座

伊勢しめ縄づくり体験 ～伝承への取り組み～

伊勢の町に必須の伊勢しめ縄。一年中玄関に飾る伊勢の伝統的風習です。神棚・神具を製造販売する老舗の株式会社宮忠は全国に伊勢しめ縄を販売しています。しかし「しめ縄」は高齢化で危機的状況に。そこで宮忠は伝統を守るため、田んぼ作りから指導する「しめ縄を未来へつなぐプロジェクト」を2021年に発足。現在このプロジェクトに賛同した若手職人たちが育っています。しめ縄づくりと共に、伊勢の伝統や文化を楽しく学びましょう。

参加費

会員

5,000円

ビジター

5,500円

(材料代含む)

講師

川西 洋介

株式会社宮忠 常務取締役

募集定員 15名

7月7日(月) 13:30～15:00

企画講座

伊勢神宮 御厨・御園めぐり その5

御厨・御園は伊勢神宮の神饌や経営資源などを供給する土地のことで、中世には全国40ヶ国に計600ヶ所以上存在しました。今回は、東海地方・現在の静岡県掛川市に存在した「遠江国小高御厨」に関する古文書を読みました。今回は、現在の千葉県成田市に存在した「下総国遠山方御厨」に関する後醍醐天皇の綸旨を通じて、北畠親房と大塔宮護良親王の意外な関係を読み解いてみたいと思います。中世の古文書を読めるようになりたいと思っている方、大歓迎です！！

参加費

会員

1,000円

ビジター

1,500円

講師

岡野 友彦

皇學館大学 文学部長

7月12日(土) 11:00～13:30

特別講座

三重の恵みを食す ～海のもの、山のものを使って～

身土不二（しんどふじ）という言葉を知っていますか？仏教用語なのですが『身と土は一つである』つまり、自分が生まれた土地、住んでいる土地の物を食べていれば人間は健康でいられるということです。四里四方の物を食べていれば病知らずとも言われます。旬の新鮮なものを食べることが栄養面でもプラスになるのです。人間は哺乳動物。地球上には4000種の哺乳動物がいますが、全て自らの行動範囲の物を食べて暮らしています。ところが人間は遥か遠くの物も食べていますね。今回は『地元の物を食べて健康に過ごしたい』とのことで、三重県の食材を使った御馳走が並びます。

参加費

会員

3,600円

ビジター

4,100円

(食事代含む)

講師

西岡 宏起

相可高等学校 食物調理科 専門調理師 教諭

募集定員 20名

『伊勢神宮の智慧』は10万部のベストセラーです

7月15日(火) 13:30～15:00

企画講座

日本神話の知恵

日本と諸外国の文化の違いは、環境風土によるものであり、歴史を突き詰めていけば神の世界にまで至ります。どの国にも世界の始まりを告げる神話があります。そこで語られる労働感も異なるのです。日本人の勤勉さは、天照大神が天上で営まれていた衣食住の神業に起因します。ところが西洋の労働とは、神がアダムとイブに与えた罰なのです。こうした神話を読み解くことは、日本人の特性の再発見につながるはずです。

参加費

会員

1,000円

ビジター

1,500円

講師

河合 真如

元伊勢神宮禰宜

7月18日(金) 13:30～15:00

企画講座

神宮の図書館 ～林崎文庫と豊宮崎文庫～

神宮には古くから「文殿」「神庫」という研究施設がありました。江戸時代には広く一般にも使えるようにと、外宮に豊宮崎文庫、内宮に林崎文庫が建てられました。『伊勢参宮名所図会』にも描かれている林崎文庫ですが、豊宮崎文庫と違い、その道のりは困難なものでした。神宮の図書館であり、教育施設でもあった豊宮崎文庫と林崎文庫について、本居宣長や伊勢の文化人との関係も含めてご紹介します。

参加費

会員

1,000円

ビジター

1,500円

講師

浦野 綾子

皇學館大学 佐川記念神道博物館 学芸員・准教授

神宮司庁文化部 提供

7月24日(木) 13:30～15:00

企画講座

伊勢神宮の何故 その5

すっかりとシリーズ化した「伊勢神宮の何故」ですが、受講者の皆様からの質問が数多あり、すべてお答えできないまま講座を終える有様となりました。先生は最近、皇學館大学名誉教授・岡田登氏と京都大学名誉教授・金坂清則氏との協同調査に参加され、その際に知り得た内宮・外宮神域の故実も本講座で紹介できればと考えていらっしゃるようです。また外宮の御池の成り立ちについての、新たな情報もお話いただきます。その他、疑問に思うことがあれば、質問事項をお届けください。先生から、真摯な回答がいただけます。

参加費

会員

1,000円

ビジター

1,500円

講師

音羽 悟

神宮司庁 広報室次長

7月28日(月) 13:30～15:00

企画講座

宝石・原石あれこれ

宝石は、外見上の美しさ、物理的な硬さ、産出の希少性を兼ね備えた、装飾に供しうる非金属の鉱物の総称です。宝石の代表格、ダイヤモンドの成分は炭素原子のみで結合し、硬いのはその結合の仕方が他の鉱物とは違うからです。多くの宝石は色、透明度、輝き、硬度などによってさまざまな様相を呈しています。今回はルビー、サファイア、トルマリン、ガーネットなどの馴染みある宝石について、その鉱物学的な特徴を詳しく説明していただきます。

参加費

会員

1,100円

ビジター

1,600円

講師

津村 善博

元三重県総合博物館 非常勤学芸員(岩石鉱物担当)

7月30日(水)8月20日(水) 13:00～15:30

体験講座

籐のかご編みバッグを作ってみよう

自然素材の籐を使って可愛いかごバッグを作ります。今回は2回に分けて仕上げていきます。籐を編みややすくするために材料の籐を水につけて柔らかくしますので、汚れても良い服装でお越しください。かごのデザインは、使う場面をイメージして、自由きままに！

参加費

会員

4,700円

ビジター

5,200円

(材料代含む)

講師

片桐 和子

クラフト作家

募集定員 12名

※花切ハサミ・洗面器・霧吹き・フェイスタオル2枚をお持ちください。  
※材料準備の都合により7／23に申込を締め切ります。お早目にお申込みください。

8月4日(月) 18:30～20:30

体験講座

夏の星見とさまざまな天体たち

夏の星空には、ガス星雲や惑星状星雲、球状星団など、18世紀にフランスのメシエが番号をつけた、さまざまなM天体が潜んでいます。天候が良ければ、これ一台で簡単に天体を導入して写真が撮れるスマート望遠鏡を使って、そんな天体たちをめくりたいと思います。さらにジェイムズウェーブ宇宙望遠鏡などが撮影した同種の天体の画像などから、星の誕生や進化の様子を見ていきたいと思います。

参加費

会員

1,300円

ビジター

1,800円

(五十鈴茶屋製の和菓子付)

講師

野田 学

名古屋市科学館 学芸員・博士(理学)

8月5日(火) 13:30～15:30

体験講座

植物療法でセルフケアを学ぶ

植物療法とは、ハーブ（薬効のある植物）の成分を活かして、心や体のバランスを整える療法のことです。講座では、ハーブティーがもたらす様々な効果を学び、日常の中で自分で自分を整えることができるようになるためのきっかけづくりとなるお話を伺います。

参加費

会員

2,900円

ビジター

3,400円

(ハーブティー・菓子代含む)

講師

大矢 千晶

茶店主・植物療法士

募集定員 16名

※材料準備の都合により7／28に申込を締め切ります。お早目にお申込みください。

8月18日(月) 13:30～15:00

企画講座

小天狗 清蔵

戦国時代終末、伊賀の山出という集落に清蔵という天狗に似た男の子がいて皆から小天狗と呼ばれていました。少々変わった子で本人も小天狗と称し、成長して修験者となり大峰三十六度という厳しい修行を積んだそうです。その頃の伊賀は天正伊賀の乱といって、織田信長が伊賀に攻め込み悲惨な状態になりました。清蔵は荒廃した地域の社寺の復興に尽力し、伊賀敢国神社の鉄湯釜、猪田神社の鯉口、生まれ故郷勝因寺の梵鐘の他、奈良や京都にも寄進した梵鐘があるそうです。晩年は勝因寺に隠遁し同寺には山伏姿の肖像彫刻が残っています。伊賀復興のプロデューサーのような清蔵のお話です。

参加費

会員

1,100円

ビジター

1,600円

講師

瀧川 和也

三重県総合博物館 学芸員

8月25日(月) 13:30～15:00

企画講座

遷宮諸祭振り返りと御船代祭

5月2日に行なわれた山口祭と木本祭、6月3日には長野県上松町での御杣始祭、御神体をお納めする御器を奉製するための檜を伐る祭りです。条件が難しく南斜面で近くに小川が流れ、左右2本の檜の先端が伐った時に交差する場所に生えている木でなければならないとか。伐った木は伊勢まで運ばれ6月9日（内宮・川曳き）10日（外宮・陸曳き）の「御遷代木奉曳式」で神域まで運び込まれます。これらの祭りを取材された千種先生にお話を伺うと共に、9月17日と19日に行なわれる御船代祭（みふなしろうさい）についてもお話いただきます。

参加費

会員

1,000円

ビジター

1,500円

講師

千種 清美

文筆家／皇學館大学 非常勤講師

8月28日(木) 13:30～15:00

企画講座

慶光院上人と遷宮

遷宮が中断された時期があったのをご存じですか？応仁の乱から戦国時代にかけて120年も行われなかったのです。この事態を憂い奮い立ったのが僧尼たち。まず宇治橋の架け替えが室町時代末に行われましたが流されてしまい、後に慶光院の守悦という尼が再挑戦、全国を勧進して成功させました。三世の『清順』は宇治橋架け替えと正遷宮再興、外宮の遷宮を斎行、跡を継いだ四世の『周養』は信長・秀吉の支援を受けて、両宮のご遷宮斎行にこぎつけます。20年に1度のご遷宮は当たり前のことではありません。先人達の努力の跡を辿りたいと思います。

参加費

会員

1,000円

ビジター

1,500円

講師

山中 一孝

豆腐庵山中 代表取締役

6月25日(水)・7月23日(水)・8月27日(水) 10:00～12:00

企画講座

楽しい俳句

わずか17文字にいろいろなことを詠みこむ俳句。難しいことをいえば貴族社会で楽しまれていた和歌に始まり連歌、俳諧となり、芭蕉が芸術にまで高めた究極の短詩です。これを生み出したのが日本人であることは世界に誇るべきことです。日本語のリズムは知らず知らずに5・7・5になっているといわれます。つまり誰もが俳句を作る下地は持っているのです。いまや世界の人々が作る俳句、一度ぜひ作ってみてください。石井先生がわかりやすくノウハウを教えてください。

参加費

(各回)

会員

1,700円

ビジター

2,200円

講師

石井 いさお

煌星俳句会 主宰